

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

課題	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、 令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の 目標値	単位
学校支援ボランティアの 確保・育成	少子化や核家族化が進行する中、子どもたちと地域が交流する機会が減っている。また、ボランティアの高齢化による後継者不足も課題となっている。	地域学校協働活動推進員が学校と地域をつなぐ役目となり、子どもたちに地域の人材や資源を活用した多様な活動が確保されるようコーディネートする。また、毎月広報誌を発行し、地域学校協働活動への理解促進を図る。	学校からの支援要請に応じてボランティアを派遣し、地域住民と交流する場を設けた。また、ボランティアだより「清流」を毎月発行し、地域学校協働活動への理解促進を図った。	学校を拠点として学校・家庭・地域が交流し、学校と地域、子どもと地域とのつながりができる。	学校支援に関わるボランティアの参加者数(延べ人数)	3000	人	3080	人